

美浜区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度) 各地区部会エリアにおける実績  
【稲毛海岸地区部会エリア】

取組項目・実績

**(1) 顔の見えるご近所づきあいの構築(重点取組項目)**

- ・稲毛海岸地区部会が開催する、高齢地域住民の集いの場・交流の場「ふれあい いきいきサロン」「ふれあい 散歩クラブ」、乳幼児を子育て中の母親父親の交流の場「ふれあい 子育てサロン」を実施。最近では、各サロンの参加者(高齢者・子育て中の親)が増加傾向となっている。
- ・稲毛海岸地区部会にてバス研修旅行を2月に実施。コロナ禍で中断していたが、それなりの参加者数により再開することができた。
- ・稲毛海岸地区部会が実施する「ふれあい 散歩クラブ」に防犯パトロールを兼ねて、行き交う人達にあいさつをするようにして不審者の寄り付き防止活動をしている。
- ・地区内4自治会で、継続して見守り活動を実施。立ち上がった新規の自治会に対しては、見守り活動の推進の案内を行っている。
- ・青少年育成委員会と稲毛海岸地区部会(児童・母子福祉委員会)とで開催した「スポーツ交流会」では、これまでのグランドゴルフに加えモルックを追加し、地域の子どもから大人・高齢者まで多世代の参加となり参加者・住民が一体となった世代間交流のできた大会となった。
- ・地区内の自治会において町丁ごとや各自治会単位で「夏まつり」を実施。若い現役世代の多い自治会と、高齢者の多い自治会とで開催に温度差が生じてきている。
- ・稲毛海岸地区部会において「敬老会」を開催。コロナ前の開催と様相がかなり変わり、市内のホテルを会場にせざるを得ない状況となった。貴重な交流・外出の機会であるが、会場の都合で参加費負担が足枷となり、参加を断念する人も存在していると思える。

**(3) “みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築(重点取組項目)**

- ・稲毛海岸3丁目地区において、有志ボランティア(会員)による地域支え合い活動「稲三サポートの会」が継続して活動をしている。
- ・地域運営委員会を中心に地域内において、6月に「ごみゼロクリーンデー」、年末に「クリーン作戦」を展開し、地域の環境美化に貢献することができた。
- ・青少年育成委員会が主催している、地区内の遊歩道でのあじさいの植栽を小学校の児童・中学校の生徒・教職員・保護者・地域住民で行い、花のある散歩道づくりに貢献することができた。
- ・稲毛海岸地区部会が主催するボランティア講座を10月に開催。健康に関するテーマとすることで、より多くの参加者が集まるようにし、地域福祉活動への参加・フレイル予防への啓発へと繋がられるよう工夫した。

取組項目・実績
<p><b>(4) 防犯・防災対策を通じた地域づくり</b></p> <p>・避難所運営委員会が防災訓練の全体的な方向性や統括をしながら開設訓練を実施。また、防災訓練が実施できる自治会は独自に実施した。</p>
<p><b>(12) オンラインや訪問相談等の活用による新しい情報伝達の仕組みづくり(重点取組項目)</b></p> <p>・千葉市の事業により38地区連協において、地域広報における「公式アカウントの作り方勉強会」を開催。無料・有料のLINEアカウントによる自治会単位での発信等について説明を受けた。デジタル回覧板も可能になることから導入についても検討していきたい。また、地区部会としても情報発信・情報提供のツールとして考えていきたい。</p>
<p><b>(15) ボランティア活動への参加促進</b></p> <p>・コロナ禍で中断していた行事も縮小や時短で再開したものが元に戻りつつあり、運営スタッフも増えその中から中軸になる人物が出てくることを期待している。また、行事に参加してくれる方も健常者のみではなく、様々な方が参加できる取り組みが少しずつ築けていると思う。</p>

## 【幸町2丁目地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(2)地域福祉を推進する団体等の交流やネットワークづくり(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・千葉幸町団地自治会が主体となって、「憩いの場 さいわい」を第1・第3木曜日の月2回、茶話会として開催。おしゃべりを通じて安否確認や情報交換を行っている。(毎回約20名参加)</li><li>・あんしんケアセンター幸町が事務局となって「見守りネットワーク会議」を開催。地区部会(社協)・民生委員・行政だけでなく消防や民間事業者(薬局)も参加し、情報交換を行った。今後、年1回の開催予定。</li><li>・九都県市総合防災訓練に合わせて8月25日に、旧幸町第一小学校を会場に防災訓練を行った。</li></ul>
<p><b>(7)地域での助け合い活動の推進(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度も千葉幸町団地自治会が主催する「お助け事業部」(助け合い活動)の活動を実施。URから、チラシの配布・掲示等のPRやビブス等の用具の提供、協力者(サポーター)の管理等の協力を得ている。</li><li>・引き続き、あんしんケアセンター幸町が事務局となって「幸町2丁目連携会議」を年3回開催。</li><li>・多文化共生の取組みとして、外国人居住者と既住民との交流を七夕を通じて千葉大学と交流した。UR 主催で年2回、国際交流で、民族楽器の演奏で多国籍音楽会を実施した。</li></ul>
<p><b>(15)ボランティア活動への参加促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・幸町2丁目地区部会が主催する3つの「ふれあい いきいきサロン」合同で開催したサロンにおいて、警察の協力で講話を行った。</li></ul>

## 【幸町一丁目地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(1) 顔の見えるご近所づきあいの構築(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸町一丁目地区部会では、①楽しく歌う「アネモネ」②就園前の親子が集う「ぐーちょきぱー」③縁側の日向ぼっこのような「ひだまり」④お弁当の会食(持帰り選択可)「ふれあい給食」⑤学びながらコミュニケーションの「手話クラブ」⑥楽しく踊ろう「輪踊りの会」⑦「健康スポーツの会」等のふれあいサロンを開催し、居場所・交流の場として定着している。</li> <li>・特に「健康スポーツの会」ではボッチャを取り入れ練習会(毎月2回)及び大会(年2回)を開催し、多世代交流の場となっている。また、グランドゴルフ大会及びボーリング大会を開催し、男性住民の参加を促し、地域での健康づくり及び交流の場となっている。</li> <li>・「ふれあい給食」では会食前にシニア体操を取り入れ、フレイル予防の3本柱である栄養・運動・社会参加を意識する工夫をしている。</li> <li>・ふれあいサロンを通して大小様々な複数のつながりが自然に作られ、互いに支え合う仕組みができつつある。</li> </ul>
<p><b>(3) “みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の美化活動として、「朝風会」によるゴミ拾いや幸町公園での清掃活動の実施。「幸町公園友の会」や「幸町公園アジサイプロジェクト」では公園の清掃・管理、植栽等を行いながら、現役世代を巻き込んだ次世代のリーダー養成も見据えながら実施をしている。</li> <li>・36地区連協による「盆踊り大会」を開催。地域住民にとっての恒例の交流の場となっている。</li> <li>・幸町1丁目では、毎朝幸町公園にてラジオ体操を行い、地域での健康づくりに努めた。</li> <li>・36地区連協が中心となって開催している「幸町1丁目 健康プラザ」では、要支援者対策や地域住民の通いの場・交流の場として、健康推進の場として、併せて安否確認の場として、地域高齢住民の期待に応えている。</li> </ul>
<p><b>(4) 防犯・防災対策を通じた地域づくり(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいづくりの場として「人生万歳」を実施。青パトによる地区内防犯パトロール、小学生の登下校時の見守り、夜間の危険個所のパトロールを実施している。</li> <li>・行政(市)が実施している、高齢者緊急通報システム(ALSOK)の活用について、引き続き普及に努めた。</li> <li>・36地区連協が中心となって作成した、医療機関・防災拠点・公共施設等が記されている「地域安全マップ」を活用し地域住民の防災意識の向上を図っている。また、「防災講演会」を開催し防災についての現状把握に努め、防災に関する全住民意識調査を行った。</li> <li>・36地区連協による「秋季 防火防災総合訓練」を10月に実施した。</li> <li>・幸町一丁目ガーデンタウンにおいて、毎年1月に「もちつき」を実施。住民が参加することにより、安否確認・配食訓練を行うことができ、防災訓練となっている。</li> </ul>

## 取組項目・実績

### **(6) 地域住民参加型の支え合い体制の構築(重点取組項目)**

- ・千葉大生の協力を得て、夏・秋休みに「勉強会」を実施した。冬の学習会は未実施。今後の大学生との連携・協力について確認し、次年度につなげることが出来た。
- ・「安心サポートの会」による地域支え合い活動を引き続き実施。地域住民にとって頼れる存在となってきた。

### **(8) 地域の保健と医療との連携による心身の健康づくり(重点取組項目)**

- ・幸町一丁目地区部会では理学療法士による健康教室を年6回開催した。参加者一人一人の状態を確認しながらの説明や運動はわかりやすく好評であった。男性高齢者の参加が増えた。

### **(10) 誰もが身近に得ることができ、分かりやすい情報の発信(重点取組項目)**

- ・幸町一丁目地区部会広報紙「小窓」を年6回発行した。  
活動の様子や予定、地域福祉に関する情報等を掲載し、社協活動に関心を持ってもらえるような紙面作りに努めた。
- ・毎月の活動予定を周知する「〇月の社協」を発行、各自治会及び管理組合の掲示板に掲示した。
- ・36地区連協による広報紙「けやき」を年6回 隔月で発行。地区部会広報紙「小窓」と交互に発行することにより、地域住民にとっては毎月、紙媒体による情報発信を得ることができるよう工夫している。また、ホームページも開設し、デジタルによる情報発信も行っている。
- ・幸町一丁目ガーデンタウン地区において、有線ケーブルテレビが開局しており、地域の情報を発信している。
- ・幸町一丁目ガーデンタウン 管理センター内において、「ガーデンギャラリー」を開設し、地域文化の振興と情報発信の基地として地域に貢献している。

### **(15) ボランティア活動への参加促進**

- ・幸町一丁目地区部会では理学療法士による健康教室を年6回開催した。参加者一人一人の状態を確認しながらの説明や運動はわかりやすく好評であった。男性高齢者の参加が増えた。

## 【高洲・高浜地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(1)顔の見えるご近所づきあいの構築(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高洲・高浜地区部会が地域高齢者の交流の場として開催する「ふれあい いきいきサロン」では、参加者のニーズに応じたメニューをサロンスタッフが考えて実施している。</li> <li>・「ふれあい食事サービス」では、地域の高齢者を対象として、地域のボランティアの方たちが食事のメニューを考え、調理し、会食を3ヶ所で行っている。</li> <li>・8月と2月に高洲コミュニティセンターにて高洲・高浜地区部会が主催する「こどもフェスタ」を開催。親子の参加により子どもたち同士の交流や親同士の交流の場ともなっている。</li> <li>・自治会組織のない地域の75歳以上の高齢者を対象に、高洲・高浜地区部会が中心となって、「高洲・高浜地区合同敬老会」を開催。参加高齢者の外出の機会や安否確認・状況把握の場ともなっている。</li> </ul>
<p><b>(5)町内自治会・集合住宅の集会所などの地域資源を活用した交流の場づくり(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高洲・高浜地区部会ボランティア委員会が中心となって、JR稲毛海岸駅前の花壇の手入れを実施。春には花苗の植え替え、水やりは交代で毎日行った。</li> </ul>
<p><b>(9)健康づくりイベント等への参加促進(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加高齢者が健康に関する関心が高いことから社協 美浜いきいきプラザと協働で「健康フェスティバル」を開催し、健康維持の促進とフレイル予防を目的として健康測定会・講演会を実施した。</li> </ul>
<p><b>(15)ボランティア活動への参加促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高洲・高浜地区部会 障害者福祉委員会により、車いす利用者と一緒にバス旅行を実施。長い緩やかなスロープの昇りを介助しながら水族園での見学を行った。</li> </ul>

## 【真砂地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(2) 地域福祉を推進する団体等の交流やネットワークづくり(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・真砂地区部会が交流の場として主催する「ふれあいいきいきサロン」「ふれあい子育てサロン」「ふれあい食事サービス」や「クリスマスコンサート」等を実施し、地域住民や地域団体の交流・ネットワークの推進を図ることができた。</li><li>・地域運営委員会の会議が3ヶ月に1回開催され、地域内の各種団体が参加出席することにより情報交換・ネットワークづくりが図られている。</li><li>・真砂地区部会 障害者福祉委員会が中心となって、地域内の障害者施設と地域活動を通して交流を図っている。</li><li>・地域で開催される「真砂コミュニティまつり」「美浜区民フェスティバル」に参加して、真砂地区の各種団体のPR活動を行っている。</li></ul>
<p><b>(3) “みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域支え合い活動「ささえあい まさご」は、引き続きゴミ出し支援・買物支援等を実施していて、地域からの信頼を得ている。</li><li>・自治会が中心となって、見守りを兼ねて防犯パトロールを実施している。また、千葉西警察署と連携して町内自治会の協力を得て防犯ポスターを貼り出し掲示している。</li></ul>
<p><b>(10) 誰もが身近に得ることができ、分かりやすい情報の発信(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域運営委員会のホームページ内で、各団体が情報の随時更新を行っていて、誰もが見やすいように整備を行っている。</li><li>・真砂地区部会が発行する広報紙「真砂ふれあいだより」を地域内に全戸配布を行い、存在や活動の周知を図っている。</li></ul>
<p><b>(14) ボランティア人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域支え合い活動「ささえあい まさご」では、広報紙や声掛けにより、新たに2人の活動者が加わった。</li></ul>

## 【磯辺地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(1)顔の見えるご近所づきあいの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初より1自治会が新たに「ミニサロン」の開催に着手し、参加者のニーズに応じた取り組みを始めた。従って、自治会単位でのミニサロンについては、4自治会が民生委員を窓口にして展開することとなった。</li> <li>・「ゆるカフェ」については、参加者による口コミでの周知が進み、誘い合っでの参加も多い。</li> </ul>
<p><b>(3)“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見守り・声かけ活動」は、適度な距離をもってご近所の独居の方を気遣う地道な活動で、4自治会で継続された。住民のニーズを考慮しながら、「支え合い活動」へと転換させていくことは、引き続いての課題となっている。</li> </ul>
<p><b>(7)地域での助け合い活動の推進(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「支え合い活動」を自治会で実施することの重要性や必要性については承知している自治会が多い。しかしながら、既存の活動以外に新たに「支え合い活動」に取り組むことに躊躇している自治会が多いこともまた事実である。担い手の高齢化、思ったほど若い世代の協力が得られないなどが要因となっている。そういう背景のもと、未実施の自治会へ、どういうふう「支え合い活動」の導入を働きかけていくのか、これは容易く解決策が見いだせるものではない。早い時期より「支え合い活動」を導入し、実績を挙げている自治会もあることから、あらゆる機会を通して、啓発・説明ができるように努力している。</li> </ul>
<p><b>(12)オンラインや訪問相談等の活用による新しい情報伝達の仕組みづくり(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みは概ね良好に推移し、「インスタを見て、子育てサークルを知った」という参加者が何組もいる。とりわけ、地域の演奏グループに来室していただき、ミニ・コンサートを開催したときの様子や、クリスマス会の盛況ぶりを、即時、臨場感豊かにお知らせできたことが、潜在的な参加者を掘り起こすきっかけになったと思われる。</li> </ul>
<p><b>(15)ボランティア活動への参加促進(重点取組項目)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度も、さまざまな感染症が年間を通して流行する状況であったため、地域拠点(磯辺地域ルーム)に、ある程度の人数を集めての講演会の実施には、踏み切れなかった。</li> <li>・磯辺地区内の小規模ではあるが障害者の地域活動の拠点となっている事業所へ出向き、一緒に活動(庭木の夏ミカンを加工してのマーマレードづくりなど)をしたり、バス旅行にも参加し、車中でビンゴ大会を主導するなどの取り組みができた。それらの活動を通して、参加者(対象者を含む)を「待つ」のではなく、こちら側(地区部会の理事など)が「出向く」ことの重要性を認識できた。</li> </ul>



## 【幕張西地区部会エリア】

取組項目・実績
<p><b>(3)“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築</b>(重点取組項目)</p> <p>・幕張西地区部会が主催する、小学3年生以上を対象とした「料理教室」は2月に開催。地域内の幕張西公民館の協力により、小学校児童へ参加案内・参加申込受付・実施会場の提供などを行っていただき、地域の中で連携して実施することができた。(15名参加)</p> <p>・「幕西5656食堂」は、7月から始まり毎月一回の開催で実施。千葉市社協地域ふくし力アップ助成金を活用し、地元の広報紙や幕張西地区部会の広報紙(YOU&amp;I)への掲載、スーパー・宅配事業者等による食材の提供、調理や受付のボランティアスタッフ等、幅広い年代の様々な方たち・団体・企業からの協力・連携により開催することができた。</p> <p>・幕張西地区部会が主催する、高齢者を対象としたバス研修旅行を2月に実施。参加住民間で意見交換・情報交換・状況確認等を互いに行うことができた。</p>
<p><b>(5)町内自治会・集合住宅の集会所などの地域資源を活用した交流の場づくり</b>(重点取組項目)</p> <p>・11月に幕張西小学校の体育館・校庭を利用して、30地区連協による防災訓練を実施した。体育館ではクイズ形式で防災知識を学び、校庭では消火訓練等を行った。</p>
<p><b>(15)ボランティア活動への参加促進</b></p> <p>・「ふれあい食事サービス」では、手伝いで加わった方が調理ボランティアとして新たな協力者となってもらうことができた。</p> <p>・「子育てサロン」では、以前、参加者として利用していた方が子育てが落ち着いたとして、今度はボランティアスタッフとして参加してもらうようになり、活動の輪が広がった。</p>

## 【打瀬地区部会エリア】

### 取組項目・実績

#### **（４）防犯・防災対策を通じた地域づくり（重点取組項目）**

##### 【住民主体による協働のまちづくり】

・５月に「ベイトウンまつり」を開催。子どもから高齢者までが街に出てきてもらうことを目的として実施。８月に「夏祭り」を開催。１０月に「クラシックカーレースゴールセレモニー」「コアフェスタ」を開催。１２月に海浜幕張駅、ワールドビジネスガーデンアトリウムにおいて「幕張新都心クリスマスイベント」を開催。また、１月に「ベイトウンマラソン大会」「餅つき大会」を実施した。

##### 【防犯・防災対策を通じた地域づくり】

・３月に防災対策として「備えパーク」を実施し、いざという時の消防・防災・ペット対応等についての展示会やワークショップを幕張海浜公園にて開催した。

・９月に千葉県警察、千葉西警察署と特殊詐欺防止の強化を目指し、地域支えあいの街づくりの一環として、警察庁のSOS47プロジェクトの招致により、打瀬公民館で防犯落語の公演を行った。１００名の来場により、国際電話不取り扱いによる詐欺被害の防止の一助につながった。

#### **（５）町内自治会・集合住宅の集会所などの地域資源を活用した交流の場づくり（重点取組項目）**

・ベイトウン商店会が運営するコミュニティスペース「絆」において、認知症カフェ・麻雀サークル・音楽会・書道教室等が月例で開催された。

・打瀬地区部会障害者福祉委員会では、６月に初めての企画として「子育て勉強会『子育てのヒントお話しします』」を開催し、多くの子育て世代の母親、子供ルーム担当者等の参加があった。また、２月には第３回目となる認知症をテーマにした映画上映会を開催した。（上映作品「ケアニンあなたでよかった。」）

・今年度からの新しい活動として、誰でも自由に参加できるコミュニティサロン「ふりスペース」を開催し、情報・意見交換の場としている。県・市の発達障害支援関係部署のサポートを頂きながら、活動を継続・充実させていく。

・「グリーンスローモビリティ（愛称：ベイ太くん）」の実証調査の実施（９月１日～１１月３０日の３ヶ月間）の延べ乗車人数１，０６４名、走行距離１，０００kmを６０名の地域ボランティアの活動により達成。地域内の交通弱者の課題発掘と、地域交通のあり方、街に暮らす人々の幸福度を向上させる共創の場を持ち、千葉市・NTT社会情報研究所・千葉大大学院等、産官民一体となった取り組みに至った。

・「子どもまち歩き＆クリーン作戦」では、街中と県立幕張海浜公園のゴミ拾いを行い、幕張新都心のQVCスクエア本社の施設見学を実施。３５０名の小中学校の児童・生徒・保護者、教職員等が参加し、地域内の企業に協力を得ながら、地域コミュニティの発展に寄与できるような活動を実施することができた。

## 取組項目・実績

### **(14) ボランティア人材の育成(重点取組項目)**

- ・3月に高齢者を対象にした健康診断会「第3回健康フェスティバル」を開催し、定員として設定した50名の参加があった。今後も年一回の頻度で開催することとしている。診断項目は、骨密度・体組成・血管年齢・脳年齢・血圧等の特に高齢者の健康寿命維持のために注目すべき項目を選定し実施していく。
- ・11月に打瀬中学校で実施したEX講座では、障害者福祉の講座の他、共存し住み続けられるまちづくりをテーマに、ウェルビーイング・ビーチクリーン・海外留学生との交流等、中学生へ多様性を考え、支え合いの大切さを学ぶ場を設けた。

### **(15) ボランティア活動への参加促進(重点取組項目)**

- ・今年度から新たな取り組みとして活動を開始した海浜病院認定看護師による健康セミナーは、初年度として「糖尿病の予防基礎講座」及び「嚥下機能障害」の2講座を開催した。いずれも住民に初めて提供する講座であったことから多くの方の参加を頂いた。来年度も嚥下機能と認知症をテーマにした2講座を開催の予定としている。
- ・打瀬地区部会が開催する各種行事において、参加された方々に、地区部会への加入、ボランティアとしての活動への参加を声掛けしている。今年度打瀬地区部会には、3名の新規ボランティアメンバーの加入があった。
- ・5月と8月のまつり会場に屋台を出店し、中学生のボランティアによる高齢者への声掛けを行った。